

AIの時代に外国語学習は必要か？

～みずから外国語を学ぶ意味を考える～

参加費
無料

AI等で自動翻訳(機械翻訳)が可能となった時代に、何を苦勞して外国語など学ぶ必要があるのか？

そのような問いを立てたとき、何が答えとなるだろうか。

「ことば」というものの性質について、庄内にゆかりのある講師を招き、私たちが普段使っている庄内弁などの日本語の例もまじえて考えてみたいと思います。



令和8年11月28日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)
東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール

講演テーマ及び講師

定員
80名
(先着)

〔テーマ〕 AIの時代に外国語学習は必要か？

～みずから外国語を学ぶ意味を考える～

〔講師〕 菅原 克也 氏(東京大学名誉教授・武蔵野大学名誉教授・日本比較文学学会会長)

プロフィール

山形県飽海郡遊佐町に生まれる。山形県立鶴岡南高等学校卒業。東京大学文学部卒業。東京大学大学院人文学研究科比較文学比較文化専門課程博士課程中退。

山形大学講師、東京工業大学助教授、東京大学教授、武蔵野大学教授を経て、現在は東北公益文科大学非常勤講師。日本比較文学学会会長。

専門は比較文学比較文化。著書に『英語と日本語のあいだ』『小説のしくみ』『読むためのレッスン』、訳書に『オリンピックと近代』『ダブル／ダブル』『冬かぞえ』他。

お申込み
お問合せ

11月20日(金)までに、申込みフォームからお申込みください。

〔お申込みURL〕 <https://x.gd/N3Jlu>

東北公益文科大学 法人企画課 TEL: 0234-41-1119

申込みフォーム

